

マイロックタウン

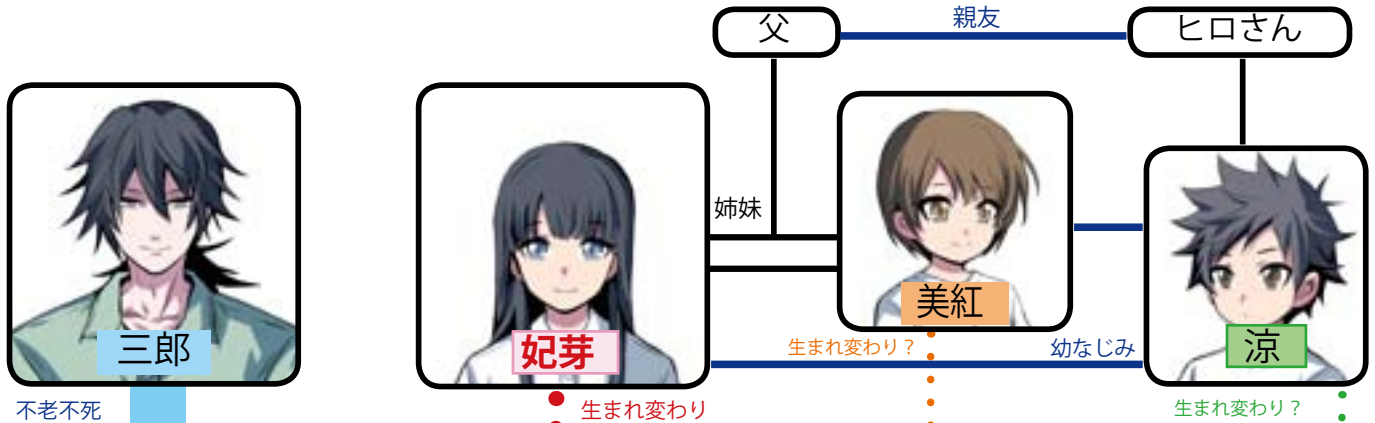
～天狗と私の千年の恋

登場人物関係図【その四】

01

現在

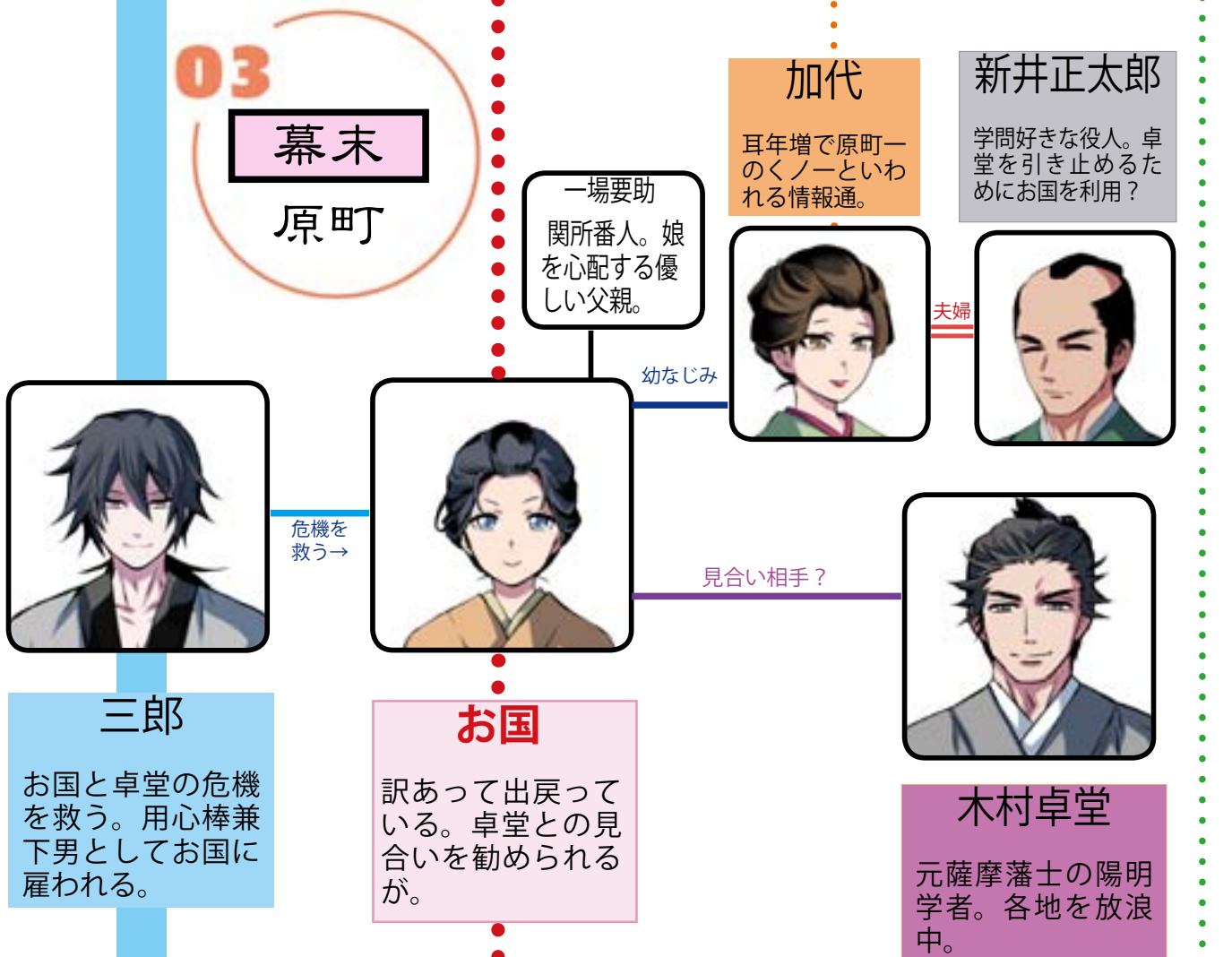
東吾妻町



03

幕末

原町



江戸中期

遠くから時々
見守る→

矢倉村の庄屋の娘。加部安の縁者に嫁ぐ予定だったが、天明の大噴火の際、濁流に流されて命を落とす。

02

江戸初期

岩井村

伊能重三郎
岩井村代官

主従関係

茂木偉一郎
重三郎の家臣



三郎

用心棒兼
指南役→



咲

幼なじみ

岡登景能
岡崎の名代官

見合い相手？



亮太郎



三四郎

戦国時代

齋藤氏に仕え
る→

岩櫃城主齋藤氏の姫。岩櫃城落城の際に、家臣の手にかかり幼くして命を落とす。

大場の七不思議

東吾妻町大柏木地区に伝わる大場の七不思議伝説とは……？

昔、京で評判のやんごとなき姫君が道ならぬ恋に落ち、身籠った子を守るために、乳母とともに東国へ下る。大柏木の大場に住み、やがて若君を産んだ。この母子縁の七つの場所にまつわる不思議な言い伝えを、大場の七不思議という。かじかが京（かじかがきょう）蒔田の松（まくたのみつ）上臈が平（じょうろうがだいら）乳母が窪（うばかくぼ）乙鳥岩（つばめいわ）独呑の井（ひとりのみい）めくら神（めくらがみ）の七つの実在する場所のことをいうが、その一部はハッ場ダム関連の工事で埋まっている。

若君の大場三郎は天狗道を極め、不老不死の身体を得て町を守っていると伝わる。